

シミュレーション・予測と 情報公開に求められること ーこれまで・今・これからー

- 主催：日本学術会議 総合工学委員会 計算科学シミュレーションと工学設計分科会
- 共 催：日本機械学会、日本応用数理学会、日本計算工学会、日本シミュレーション学会、JACM(Japan Association for Computational Mechanics)、日本計算数理工学会、アジア太平洋計算力学連合、国際計算力学連合

● 日 時：平成 23 年 7 月 14 日 (木) 13:30 ~ 18:00

● 場 所：日本学術会議講堂

● プログラム：

13:30 開会の辞

矢川元基（日本学術会議第3部会員 総合工学委員会委員長
東洋大学大学院工学研究科・教授・計算力学研究センター長）

13:35 講演1 予測科学の進展と情報展開

山形俊男（日本学術会議連携会員 東京大学大学院理学系研究科長・理学部長）

<セッション1：福島問題と情報公開>

14:00 講演2 大気拡散シミュレーションーSPEEDIー

鈴木 靖（京都大学防災研究所水文環境システム研究領域・特定教授）

14:20 講演3 原子力安全確保とシミュレーションー役割と限界ー

松浦祥次郎（原子力安全研究協会・会長）

14:40 講演4 災害時における心理と安全の社会学

廣瀬弘忠（東京女子大学名誉教授）

15:00 休憩

<セッション2：科学情報とアウトリーチ活動>

15:10 講演5 学術研究とアウトリーチ

早野龍五（東京大学大学院理学系研究科 理学部・教授）

15:30 講演6 政策形成への科学的助言

有本建男（科学技術振興機構・社会技術研究開発センター長）

15:50 講演7 「科学的」とは何か

柴田文隆（読売新聞社・科学部長）

16:10 休憩

16:20 ~ 17:50 パネルディスカッション

パネラー：矢川元基、山形俊男、鈴木靖、松浦祥次郎、有本建男、廣瀬弘忠、柴田文隆

司会：高橋桂子（日本学術会議連携会員 海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター プログラムディレクター）

17:50 閉会の辞

萩原一郎（日本学術会議連携会員 総合工学委員会計算科学シミュレーションと工学設計分科会委員長
東京工業大学大学院理工学研究科・教授）

18:00 閉会

● 申し込み方法・連絡先

お名前・勤務先または機関名・所属・役職名・電話番号を
ご記入の上、下記のメールアドレスへお申し込みください。
またパネルディスカッションでの質問を、下記メールアドレス
にて受け付けています。

- 連絡先：高橋桂子（計算科学シミュレーションと工学設計分科会 幹事）
海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター/アプリケーションラボ
〒236-0001 横浜市金沢区昭和町 3173-25
Tel:045-778-5834 Fax:045-778-5492
E-mail: sympo714@jamstec.go.jp

参加
無料

